

プロクール F 標準施工仕様書

<水性フッ素樹脂>

- ※フッ素樹脂塗膜で長期間にわたり建物を保護します。
- ※塗膜に親水性があり低汚染性に優れています。(防藻・防カビ剤配合)
- ※水系で VOC 成分及び臭気の少ない、作業性に優れた環境にやさしい遮熱塗料です。

(1).工程表

工程	製品名	塗布量 (kg/m ²)	塗布 回数	塗装間隔時間 (23℃)	希釈率	塗装方法
下地調整	・高圧洗浄でゴミ、汚れ、油分等を入念に除去し、下地の種類によって適切な処理を実施してください。 ・旧塗膜の浮きや脆弱部分を撤去し、下地は十分に乾燥させてください。					
下塗り	・適用下地の素材に合わせて適正な下塗り材をご使用ください。 ・弊社ラインナップ下塗材を使用しない場合は必ず事前に密着テストを行ってください。					はけ ウールローラー エアレス
中塗り	プロクール F 中塗り	0.15	1	3 時間以上 7 日以内	清水 0~5%	はけ ウールローラー エアレス
上塗り	プロクール F	0.15	1	3 時間以上 7 日以内	清水 0~5%	はけ ウールローラー エアレス

- 注)間隔時間・所要量の値は標準的なものです。施工方法・器具、被塗物の形状、素地の状態、施工条件により多少の幅を生じることがあります。
 注)所定の塗り重ね間隔時間よりも早く塗装すると、ちぢみ、割れ、乾燥不良を起こしますので、乾燥時間を守って下さい。
 注)旧塗膜の種類によっては下地材の影響により、溶剤膨れやちぢみなどの異常が発生する事があります。試し塗りを行った後に本施工を行って下さい。
 注)上塗材は特殊セラミックを配合している為、必ず使用前(各工程)に 3 分以上攪拌機(低速回転)で攪拌の上ご使用下さい。
 注)新規下地の場合はご相談下さい。

(2).材料荷姿

種類	材料名	荷姿	標準塗装面積
上塗材	プロクール F 中塗り	14 kg/缶	90 m ² /缶
	プロクール F	14 kg/缶	90 m ² /缶

(3).適用下地材

素地	改修下地	適用下地材
金属面	ガルバリウム鋼板、トタン、アルミ、ステンレス、鉄骨 金属系サイディング	弱溶剤プライマーエポ/エシカルプライマーJ/アクアサビノン
非金属面 外壁	コロニアル、カラーベスト、コンクリート、スレート、ALC 窯業系サイディング	弱溶剤クールシーラー/水系ホワイトシーラー
外壁	モルタル、コンクリート、リシン	(微弾性)ソフトウォール/(微弾性)断熱ソフトウォール
防水層面	ウレタン防水、塩ビシート防水、アスファルト防水、FRP	マルチプライマーEP

使用上の注意事項

- 1)原則、無歩行屋根にご使用下さい。塗料は十分に攪拌してから使用してください。
- 2)下地面は十分に乾燥させて下さい。調整が不十分ですと、さびの発生・付着不良の原因になりますので入念に行ってください。
- 3)シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染、密着不良、又は塗膜に割れが発生することがあります。
- 4)塗料の取り扱い時と塗装時は、十分に換気を行ってください。また、塗装後も乾燥のために、換気を十分に行ってください。
- 5)被塗物の形状、膜厚、色目、塗回数、希釈率により、つやが異なって見える場合があります。
- 6)刷毛、ローラー塗装時の塗継ぎ箇所等で艶むらを生じやすい傾向にあります。試し塗りの上、本施工してください。
スプレー塗りの場合は、周辺への飛散防止に十分配慮し、養生などを行ってください。
- 7)低温時(5℃以下)、多湿時(85%以上)、結露の発生が見込まれる場合は、塗膜の乾燥過程で欠陥を生じる事がありますので施工を避けて下さい。
- 8)降雨、結露、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を避けて下さい。
(塗膜の膨れ、剥離、白化等の不具合を生じる場合があります。)
- 9)標準施工仕様準じて所要量及び間隔時間を厳守の上ご使用下さい。希釈の必要な製品は指定の希釈材を用い適切な量、適切な方法で均一に薄めて下さい。
- 10)希釈した製品は、長期間保管後使用しないでください。
- 11)材料は直射日光下、高温、高湿を避け、冷暗所に保管して下さい。又、0℃以下での保管は避けてください。
- 12)作業を行う場合には、適切な保護マスク、保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用下さい。
- 13)日没までに十分に乾燥させてください。感想が十分ではない場合、垂れ、ムラ、剥離等を引き起こす原因となりますのでご注意ください。
- 14) 塗装後は、はけ・ローラー・エアレス塗装機などの用具は、早めに水洗いを行ってください。
- 15)その他塗料の取扱いについての一般的な注意事項の詳細については SDS(安全データシート)を参照下さい。